

こうぐち

練馬区議会議員

高口 ようこ

プロフィール

1980年、桜台生まれ／小竹町にて2児の子育て中／開進第三小・中、都立大泉高校、慶應義塾大学文学部卒／編集会社勤務後、フリーのライターに／地域活動を多数主宰／夫をがんで亡くし、在宅医療や介護を経験／保育士資格取得／2018年、区議補選で初当選

かわら版

vol.7

@豊玉

こどもと、
未来のこと。



市民の声
ねりま

区立保育園の民間委託…今進めると、危うい理由

保育士があつまらない！

皆さんこんにちは、新人区議の高口ようこです。地域の課題をお伝えする、かわら版。今後も発行していきます！

いま、区立豊玉保育園が、民間委託問題で揺れています。区は、2019年度に委託業者を決定、2020年度に引継ぎ、2021年度から委託開始と提案。父母会の皆さん、必死に反対しています。説明会を傍聴しましたが、保護者、保育士に、様々な負担がのしかかることを実感。何より**子ども達にとつて、親がわりの保育士がガラッとかわることは、衝撃です。**

これまで区は、60園中20園の委託化を強行してきました（豊玉第二保育園も委託済）。それで終わるはずが、さらに20園の委託化を進めようとしています。

民間の力を否定したいのではありません。しかし今、保育士不足が、本当に深刻。募集してもなかなか集まらないのが実情です。そんななか、直営の区立園を開設した他区では、なんと80人の応募に500人以上の募集が！ **安定した労働環境があれば、人は集まる……保育士不足の今だからこそ、区立保育園の民間委託は、見直したほうがよいと考えます。**

削られるのは、人件費…

そもそも、右肩上がりにもうからないのが、福祉事業。保育園は、人件費が約8割を占めると言われます。**削られるのは、この人件費。**委託費は運用が規制緩和され、人件費を、別の経費にあててもよいことになりました。人件費が3～4割の「ブラック保育園」がある、というニュースも……。

給与を減らし、雇用を不安定にして、同じ仕事を、同じ責任と思いをもってやれと、なぜ言えるのでしょうか。区は、委託しても、保育の質は保てる、と言います。しかしそれは……働くひとへの、しわよせではないでしょうか？

何より、**現場の保育士さんが長年積み重ねてきた経験やスキル……これは、練馬区の財産！**手放したら、二度と戻ってきません。現場が安心して働く環境をつくり、一生懸命働いてくれるひとを増やし、守っていくこと。それが、子ども達、私達の福祉の向上につながるのではないかと感じます。

ひと以上に、大切なものは
ないはずなのに…！



子育て、教育、まちづくり、在宅医療… 区政をあなたの身边に！

子育てや介護の実体験を、区議会へ！

練馬区議会では、年に1回、自由なテーマで質疑できる「一般質問」の機会があります。高口は、9・10月の議会（第3定期会）で、初挑戦！ 地域で実際に子育てしている実感や、夫を介護した経験から出た、**生の思い**をぶつけました。

ほかにも、決算特別委員会にて、**小中学生のカバンの重さや、学校統廃合、障害者雇用の問題**を取り上げました。



子育て中のママ議員が、
ほとんどいない区議会。
当事者として声を届けます！



議会での主な提案！

● 子育て支援

- ① 産後ケアが重要！ **子育て応援券**は、ママの心身を支えるメニューの追加＆期限延長など、見直しを
- ② 一時預かり、予約しやすいシステム＆枠の拡充

● 教育

- ① 子ども一人ひとりを見守る、**少人数教育**
- ② お茶の水女子大学附属小学校の「てつがく科」などを参考に、共に考える**「共同の学び」**
- ③ 映画『みんなの学校』のように、誰もが同じ教室で学べる**インクルーシブ教育**
- ④ **先生の働き方改革**

● まちづくり

- ① **大型道路より地域コミュニティ**を大切に
- ② 子どものあそび場を守り、増やそう！

● 在宅医療と、がん対策

- ① **がん患者の再就職や社会復帰の支援**
- ② 家族支援を含めた、チームによる**在宅医療体制**

子どものいのちが、最優先 !!

区内無認可保育所の事故。問題の本質は…

東大泉の無認可保育所で、6ヶ月の男の子が亡くなる痛ましい事故が起きました。この保育所は、保育士の数など、保育の根幹にかかわる点で、毎年指導を受けていました。そのたびに改善報告を、書類で提出。しかし行政は、現地で確認もせず、翌年また指導を出す……の繰り返し。練馬区はこの保育所を、区のHPで紹介までしていたのです。

また、預けられていたお子さんの多くが、待機児童でした。認可に入れたくても入れない実態のなか……区は、このような無認可保育所が存続してきた問題について、「親の選択肢、メニュー」のためだと答えました。

私も親です。親が望むことは、選択肢やメニューより先に、何よりも、子どもの安全、いのちです。親が安心して預けられる、子どもが安全に育つ認可保育所を、区の責任として作っていくこと。それこそが今、最も必要ではないでしょうか。

誰もが働きやすい社会に！

障害者雇用、「合理的配慮」を進めよう！

国で問題になった、障害者の法定雇用率の未達成。練馬区でも、未達成が明らかに……。なかなか進まない、障害者の雇用。今、必要なことは、障害者の支援だけでなく、受け入れれる社会や企業を変えること。そのために、**一人ひとりに合った合理的配慮を進める+支援すること**だと、高口は考えます。

今元気な人でも、病気や障害を抱える可能性があります。どんな状況にあっても働きやすい社会は、私たち全員にとっての課題です。それだけでなく、会社全体で障害者が働きやすい環境をめざした結果、「衛生面や事故などが改善され、全体の環境がよくなつた」という実例も、複数あるのです。

練馬区の外郭団体、社会福祉協議会には、レインボーワークという障害者雇用の専門部門があります。障害者本人の支援にとどまらず、企業と協力した合理的配慮の推進に取り組むよう、求めました(決算特別委員会「外郭団体」の質疑にて)。

在宅医療講座～最後まで、自分らしく！

“いざという時”が来る前に、話し合いを

祐ホームクリニックの林院長を迎えて、「在宅医療講座」を開催。「いざという時が来る前に、家族と話し合っておくことが重要」といった、「終末期医療ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」について、学びました。また、高口からは、夫を見取った体験談などをお話をしました。

他にも、「障がいを考える会」「保活座談会」「子育て相談会」「こども憲法カフェ」「PTAカフェ」など、様々な企画を開催！



4位で当選…！ ひとえに皆様の応援のおかげです。ギリギリと思っていたなか、心から感謝を申し上げます。

選挙を通じて、たくさんの出会い、経験をさせていただきました。「高口ようこの当選」という共通の目的を通して、自分たちの思いが届くよう一人ひとりが力をあわせる。まさに、民主主義のひとつのかたちが、選挙なんだなあと…。これからも、練馬区の主役は皆さん一人ひとりです。

カタチが、選挙なんだなあと…。そして一緒に、地域をつくっていきましょう！



練馬の図書館が、大ピンチ…！

図書館専門員が、図書館からいなくなる！？

1962年にスタートした、練馬区の図書館。そのうち、30年以上の経験とスキルで、区立図書館を支えているのが、図書館専門員です。現在、光が丘・練馬・石神井の3館が区の直営、残りの9館は指定管理館(民間委託)。本を選ぶ「選書」など、重要な業務は、直営の専門員が中心に(練馬区の専門員のレベルの高さは、実は有名！)。ところが今……練馬・石神井まで指定管理館に変え、専門員全員を、図書館から追い出す方針を区が提案。専門員たちは猛反対！ そもそも、長期・継続的な運営が不可欠な図書館に、5年ごとに更新される指定管理自体が合いません。図書館の質=私たちの知る権利を守るためにも、専門員を図書館に残すべきです！

information

高口ようこ事務所 月水金 9:30 ~ 15:00 OPEN

開所日以外でも、いつでもご相談やご意見を伺います。お気軽にご連絡ください。

ようこそカフェ

毎月第4月曜13~15時お困りごとや、地域の課題について、おしゃべりする場です。福祉、医療、子育てなど、テーマは毎回、様々。お茶菓子をご用意し、お待ちしています♪
【場所】高口ようこ事務所
【茶菓子代】100円(子ども無料)
【お申込】直接お越しください



こうぐち
高口ようこ かわら版
vol.7 @豊玉

発行：市民の声ねりま 高口ようこ

高口ようこ事務所（市民の声ねりま）

〒176-0002 練馬区桜台 2-40-6-103
TEL & FAX 03-6915-8535
Email info@koguchiyoko.net
Web koguchiyoko.net

池尻成二 ikejiriseiji.jp 岩瀬たけし iwasetakeshi.net

あなたと共に
ねりまを変えたい！

区政情報日々発信

